

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 一般社団法人ライフスキルサポート協会

訓練の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎コース () <input checked="" type="checkbox"/> 実践コース (20 その他分野)	就職を想定する職業・職種 (※基礎分野の場合は記載不要)		
建設人材育成コース (※基礎コースのみ)	託児サービス支援付訓練コース	短時間訓練コース		
訓練科名	子どもプログラミングインストラクター養成科 ※40文字以内で記入してください。	プログラミング講師(子ども向け)		
募集期間(予定)	平成 28 年 10 月 31 日 ~ 平成 28 年 11 月 18 日			
選考日(予定)	平成 28 年 11 月 29 日			
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> その他 ()			
選考結果通知日	平成 28 年 12 月 2 日			
訓練期間	平成 28 年 12 月 16 日 ~ 平成 29 年 4 月 14 日 (4 か月)	(訓練日数 75 日)		
訓練時間	9 時 20 分 ~ 15 時 50 分	訓練定員 12 名		
訓練対象者の条件	パソコンのキーボードからの文字入力やマウス操作などの基本操作ができ、ファイルのコピーやインターネット検索などパソコンの一般的な知識のある方			
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 新規学校卒業者 <input type="checkbox"/> ニート等の若者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 母子家庭の母等 <input type="checkbox"/> 被災者 <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> その他 ()			
訓練目標 (仕上がり像)	子ども向けのプログラミングツールを利用して、子どもにプログラミングの基礎に関して教えることができ、最適なプログラミングツールの選定や授業で使用する課題を作成でき、プログラミング講師(子ども向け)の基本作業ができる。			
訓練修了後に取得 できる資格	名称 () 認定機関 ()	<input type="checkbox"/> 任意受験		
	名称 () 認定機関 ()	<input type="checkbox"/> 任意受験		
	名称 () 認定機関 ()	<input type="checkbox"/> 任意受験		
	名称 () 認定機関 ()	<input type="checkbox"/> 任意受験		
	名称 () 認定機関 ()	<input type="checkbox"/> 任意受験		
訓練概要	子ども向けのプログラミングツールを利用して、授業で使用する課題の作成からプログラミングの基礎に関して教えるための知識及び技能・技術を習得する。			
訓練内容	科目	科目の内容	訓練時間	
	学科	就職支援	履歴書・職務経歴書の書き方、模擬面接	15時間
		安全衛生	VDT作業における労働衛生管理のガイドライン(VDT作業管理、健康管理)	3時間
		教材関連法規	知的財産権、著作権法	3時間
		子どもプログラミング教育知識	子どもにプログラミングが必要な理由、世界の子ども向けプログラミング教育、日本のプログラミング教育	12時間
		プログラミングツール知識	プログラミングツールの基本的知識(特徴、使い方)	24時間
		授業計画作成知識	プログラミングツールを利用した授業計画を作成するための重要点・注意点、教えるべきポイントの理解	12時間
		画像作成知識	素材作成の基礎知識、グラフィックソフト(Gimp2.8)の使い方	12時間
	授業実施知識	授業を行う上での策定方法、進行の留意点、安全衛生教育の内容、聞き手の関心の集め方などの理解	6時間	
	実技	プログラミングツール基礎演習	プログラミングの基礎となる順次構造、条件分岐、繰り返し処理、変数(使用ツール:Scratch2.0, code.org)	72時間
		プログラミングツール応用演習	ツールを利用して、子ども向けプログラムの作成 (使用ツール:Scratch2.0) ①アニメーション:順次構造、画像の表示、移動 ②図形の描画:繰り返し処理 ③景色シミュレーター:変数の利用、条件分岐 ④模様を描く:演算 ⑤ジャンプ:イベント処理 ⑥演奏装置:音再生	66時間
		授業計画作成演習	プログラミングツールを利用した授業計画(授業計画の策定、担当科目の内容の準備、教材の準備)を作成	48時間
		画像作成演習	素材作成(授業実施演習で使用する画像)(Gimp2.8)	42時間
		授業実施基礎演習	メインインストラクターの授業補助(授業展開の補助、受講者指導の補助)	18時間
		授業実施応用演習	作成した授業計画を元に授業の演習(受講者対応の基本姿勢、授業の進行(説明・演習)、習熟度に応じた補足説明、追加指導、個別質問への対応の仕方、授業実施後の指導方法の検討)	66時間
	企業実習	<input checked="" type="checkbox"/> 実施しない <input type="checkbox"/> 実施する ※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。		
	職場見学、職場体験、職業人講話	【職場体験】 株式会社スケールフリーネットワーク 春休み子どもプログラミング体験イベントにて、講師補助の体験		6時間
実施	405時間	学科 87時間 実技 312時間 企業実習 0時間 職場体験等 6時間		
受講者の負担する費用	教科書代	2,152円	合計 2,152円	
	その他 ()	0円		
	備考 (職場体験に係る交通費は実費)			
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する		
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	講師が作成したオリジナルテキストを用いることによって、つまづきやすいポイントや押さえてほしいポイントなどに重点をおき、効果的な指導を行うことができる。		
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	質問票を設置し、日々の質問を書いてもらうことで、個人別に的確な指導ができるようにしている。		